



建昌っ子だより

【校訓・キャッチフレーズ】元気で 力のある 建昌の子

努力を積み重ねることの大切さ

校長 坂口 利一

つい最近まで、うだるような暑さが続いていましたが、10月に入り、日に日に朝夕が冷え込む季節となってきました。建昌の森では、落ち葉が一斉に落ち始めています。

さて、運動会が終わり、現在、「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されています。2020年の新型コロナウイルス感染拡大による開催中止から史上初の延期を乗り越え“特別”な大会として開催されました。来年からは「国民スポーツ大会」と名称変更になるため、最後の国体となります。子どもたちにとってもスポーツにひたむきに取り組む国体選手や大会を支える多くの人々に触れるよい機会ではないでしょうか。



【炬火リレーの様子】

スポーツを続けてよかったことは、身体だけでなく、「勇気」が身についたことです。スポーツをやっているといろいろな高い壁や試練があります。その試練にチャレンジすることを通して、心が鍛えられました。そして、ここぞというところで動ける「行動力」が身につきました。そして、多少の失敗をしてもくよくよしない精神力がついてきたと思います。

これは、あるアスリートが子どもたちにスポーツを通して学んだことを話した一部分です。

「勇気」と「行動力」で試練を乗り越えたことが「成功体験」として自信や自己肯定感の高まりにつながります。

これからの季節は、「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」というように何を行うにも集中できるよい季節です。学校の1年間の中でも、落ち着いて日々の学習や生活に取り組めます。一日一日を大切にし、さらに一人一人に力をつけていけるよう指導に取り組んでまいります。

ぜひ、子どもたちには自分なりの「〇〇の秋」を考えて欲しいと考えています。



【6年国体観戦】